

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

企業理念

「がん」だけを見ることなく、「がん患者」の全体を診ることにより、安心して家族のがん患者に勧められる治療法を提供すること

2 中長期の経営戦略

1. モジュール創薬による新規抗がん剤創製

既存の抗がん剤をモジュール(構成単位)として利用し、創意工夫を加えてアセンブリすることで臨床上の有効性と安全性のバランスを向上させた新規抗がん剤を創製

2. 開発パイプラインの推進と充実

DFP-10917、DFP-14323、DFP-17729、DFP-14927、DFP-11207、DFP-10825などの開発品を臨床試験段階へ推進し、並行して探索研究を実施

3. グローバルな提携パートナー開拓

日本国内やアジア、欧米などの各地域での提携パートナーとライセンス契約を締結し、各地域での承認取得を目指す

4. 研究開発体制と資金調達の強化

研究開発体制の強化とともに、ライセンス契約による契約一時金・マイルストーン、株式市場からの資金調達により開発を推進

3 対処すべき課題

① 主力パイプラインの臨床開発推進

- ・ DFP-10917の米国臨床第3相試験データカットオフ準備と日本新薬との国内開発支援
- ・ DFP-14323のPMDA相談に基づく臨床第3相試験加速と日本ケミファ、海外企業との協力
- ・ DFP-17729のPMDA相談後の臨床第2／3相試験開始と症例登録推進

② 開発資金の確保と財務体質強化

- ・ 複数開発品の世界主要国での承認取得に向けた開発体制強化
- ・ 営業損失とマイナスキャッシュフロー傾向の改善
- ・ 公募増資、新株予約権行使、金融機関からの資金調達

③ 地政学的リスク対応と人材確保

- ・ 世界的情勢不安による日米臨床試験への影響に対し、実行可能性の高い地域での試験実施検討
- ・ 開発品増加に対応した適切な人材確保
- ・ 外部人材紹介企業活用による効率的な小規模組織運営

面接で使えるポイント

- ・ 「モジュール創薬」で既存抗がん剤を再組立てし、DFP-10917など複数の新規抗がん剤を開発中
- ・ DFP-14323はPMDA相談を経た臨床第3相試験加速、日本ケミファなど国内外パートナーと連携
- ・ ライセンス契約による契約一時金とマイルストーンで、研究開発資金を確保しグローバル展開を目指す

証券コード 4598

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに
徳島県に本社を置く 医薬品企業

主力事業・セグメント

・ 医薬品（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・ －（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高

－（未開示）

営業利益率

－（未開示）

財務健康度

43点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 46.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収

595万円

医薬品内 73位/80社

平均年齢

51.9歳

医薬品内 6位/80社

平均勤続

9.6年

医薬品内 40位/80社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

